



かけはし

連合長崎大東・杵岐・対馬地協
大村市西三城町9-1 TEL0957-48-6045
発行責任者: 川本良美
2025年2月18日 第37号

「賃上げ定着」の春闘へ!! 中小への波及を!!

春闘決起集会に参加しよう!!

!!! みんなでつくろう!

賃上げがあたりまえの社会

連合方針

今年の春闘は、賃上げの流れを定着させ、中小企業や労働組合のない職場にまで広げることが最大の課題です。昨春闘では、中小も健闘しましたが大手との格差は拡大しました。中小の賃上げ率が全体の賃上げ率を上回り、是正が進むことが大事です。格差は正に向けて連合が掲げた中小の賃上げ率の目標「6%以上」について、経営者側から高すぎるとの懸念があることは承知していますが、人手不足や若者の海外流失を考えれば格差是正は急務です。中小の賃上げには価格転嫁の取り組みが必要ですが、多くは物価や労務費の上昇分を転嫁しきれず、収益が圧迫されています。賃上げ原資の確保は個々の企業努力では限界があり、サプライチェーン(供給網)全体で生み出した付加価値の適正分配や適正取引の促進が重要です。昨年の春闘では33年振りに5%台の賃上げを実現できたのは、春に賃金交渉を集中させて相場形成と波及を図り、大きな流れをつくるという春闘のメカニズムが効果的に機能した結果です。労組のある企業が労組のない企業に比べて、賃上げ率が約1ポイント高かったこともデータとして出ています。

春闘の結果を、夏の地域別の最低賃金引き上げにもつなげていく事が大事です。

経団連談話 (価格転嫁の機運 大企業から)

経団連としても連合が今春闘での賃上げを「5%以上」中小企業で「6%以上」と掲げ、昨年を上回る賃上げをめざすことは労働運動としては理解できる。それには安定的な原資が必要で、全ての業種、全ての企業で実現できるかは分からない。輸入物価が上がって苦しい業種があるなど、状況は業種や地域によっても様々であり、賃金と処遇は労使で議論して決めるのが大原則だと考えている。経団連の調査では、昨年の中小の賃上げ実績は約1万円。昨年の結果を見ると、連合が掲げる1万8千円以上の目標はハードルが高いと思われるが、中小企業の処遇改善に向け、社会全体での価格転嫁が大事だと課題認識は連合とほぼ同じと考えている。

各地区の春闘決起集会及び学習会に参加しよう!

2025杵岐ブロック春闘学習会

期日: 3月1日(金)
時間: 17時00分～
場所: 杵岐の島ホール

2025大東地区春闘決起集会

期日: 3月12日(水)
時間: 18時30分～
場所: 大村市中央公民館大会議室
(大村市コミセン)

2025対馬ブロック春闘開始宣言集会

2月16日(日)シャインドームみね
において開催されました。
集会後インドアベタンク大会も開催され
組合員交流がはかられました。

長崎地区総決起集会

期日: 3月1日(土) 10時30分～
場所: 旧県庁跡地

各地区で
フードライブを
実施します。当日
会場に
お持ち下さい。
ご協力よろしく
お願いします。

団結



「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を実現する

日出生台集会報告

2025年1月25日(土)13時~14時

場所: 大分県玖珠町玖珠川 河川敷 参加総数 3719人

連合大東・杵岐・対馬地協から13名参加しました。(大東地区10名・杵岐ブロック1名・対馬ブロック2名)
日出生台集会時の天気は例年だと雪で寒い中の集会ですが、今年は晴天でそんなに寒さを感じることもなく集会に参加できました。



集会では、防衛ジャーナリスト(元東京新聞編集局社会部記者・獨協大学非常勤講師・法政大学兼任講師)半田 滋さんの講演は日米地位協定の抜本的見直しが今こそ求められている。何故できないのか?考えさせられました。日出生台では今イギリス軍と日本が軍事演習をしている。何故、イギリス軍が日本で演習ができるのかそれも日米地位協定の解釈の仕方です。自由で日本が利用されているから。とても恐ろしい事です。

石破総理は総理になる前は日米地位協定の見直しは必要と言いつつ総理になると言わなくなった。結局は自民党という組織では見直しは出来ないということの証であり、見直しをさせるためには夏の参議院選挙で政権交代を目指さなければいけない。みんなで力を合わせて参議院選挙を頑張ろうとの趣旨でした。

ジラード事件を掲載します

群馬県の米軍演習場で起きた事件。(1957年1月30日)

「ママサン、ダイジョウビ」。生活費を稼ぐため、薬莢拾いをしていた46歳の坂井なかさんが、ジラード特技兵の片言の日本語で呼び寄せられ、殺された事件。人間を鳥獣のごとく撃ち殺す行為に「日本人はスズメではない」と世論は反発した。米軍は日本での裁判を認めたが、公判は茶番となった。判決は懲役3年執行猶予4年。「無罪と同じです」と遺族は嘆き、特技兵は自由の身で米国に帰った。後に公開された外交文書で、両国間に密約があったことが確認されている。日本で裁判を開く代わりに、「出来る限り軽い判決」をだすとの秘密合意があった。事件から68年。いまま米兵の惨い犯罪は絶えない。容疑者が公務中とされれば日本で裁判はできず、公務外でも、現行犯などを除き、起訴まで身柄らの拘束が出来ない。日米関係は相も変わらず、不平等のままである。米軍絡みの事件は裁判まで行かないことも多い。女性への性的暴行事件で、沖縄ではまた米兵が不起訴になった。私たちの知らないところで、不条理の何が決まっていはいないか。こんな現実がいつまで続くのか。

参議院選挙を勝利しよう!

長崎県選挙区「深堀ひろし」 連合長崎推薦県議会議員



改革21所属・県議4期

私たち連合は、昨年行われた総選挙で「与党を過半数割れに追い込み、今の政治を政治をリセット」することを目標に掲げ、一定の成果を得ました。

野党の力でこれまで叶わなかった労働者・生活者の視点でさらなる政策実現に期待するところです。また、最大の争点となった「政治とカネ」の問題では、自民党派閥の裏金事件の経緯などは不明瞭のまま、このまま幕引きは許されるものではなく、引き続き真相究明を求めなければなりません。

そのような中で、本年7月に施行される参議院選挙では本格的な政権交代に向けた重大なステップとの位置づけで、組織の総力を結集して必勝に向け取り組みましょう。

連合推薦比例代表候補予定者全員の当選を勝ち取ろう!!

UAゼンセン 田村 麻美(国民) 自動車総連 磯崎 哲史(国民) 自治労 岸 真紀子(立憲)
JAM(機関労連) 郡山 玲(立憲) JP労組 小澤 雅仁(立憲) 日教組 水岡 俊一(立憲)
電力総連 浜野 喜史(国民) 情報労連 吉川 沙織(立憲) 私鉄総連 森屋 隆(立憲)
電機連合 平戸 航大(国民)

